

フォレストニュース

地球温暖化がクローズアップされていますが、身近なところでは、多くの森や樹木が消えています。地球の酸素供給の重要な働きが失われると、地球は不健康な姿となり、結果的に、人にとっても、不健康な営みとなっていきます。

南米のパンタナールも地球の肺の役割をしていると、いわれます。しかし、今や広大な森林が、焼畑と、材木やパルプの生産と牧場拡張のためにどんどんと森林が失われています。

今、このパンタナールに私たちは、ニーム、ジャトロファ、モリンガという、有益で、将来性のある樹木を、広い地域に植林をしています。

ニーム

ニームは国連も注目する、木のひとつです。まずはニーム豆知識・・・広く東南アジアから中近東に自生



元気に育つニーム

し、神秘の樹木として古代より崇められてきました。とくにインドでは街路樹として身近にどこにも見られ、樹皮、種子、実や葉などすべてに薬効があるとされ「ミラクルニーム」といわれています。ニームの木は高さ15~20mにも達する常緑高木です。

マホガニーに似た芳香を出し、

花は白色で蜜の香りがし、果実は丸形の緑か黄色、種子は果肉に包まれていて苦い味がします。

インドでは「ミラクルニーム」と呼ばれるこの木は、万病に効く、白蟻などのいかなる害虫も寄せ付けない木、として有機肥料や紙、衣類などの保存用等に広く利用されています。

ジャトロファ

ジャトロファも、国連が注目する木です。ジャトロファ(南洋アブラギリ)は東南アジアやアフリカで栽培されていたり自生しています。



ジャトロファの種

乾燥や高温にも強く、荒地でも生育可



能です。この種子は飛びぬけて、油脂の含有率が高く、バイオマスエネルギーの有力候補に上げられています。今日まで、この木は弱い毒性があり、あまり注目されませんでした。しかし、人や動物の食料である、大豆やトウモロコシを使う、石油に代わるエネルギーは、食料と競合し食品の高騰の原因になってきました。

地球を救う、エネルギーをジャトロファは秘めています。

モリンガ

地球上で現在までに発見された植物の中で、最もバランスよく豊富な栄養素を含んでいるといわれています。

西暦100年の古代文献にも登場し、300以上の病気を治療する木として多くの地域で秘かに珍重されてきました。葉は食用、種



モリンガの植え付け

子はオイル・食品・肥料・水浄化、花は健康増進に使えます。捨てる部位がない珍しい木です。

私達の活動

私たちは、これらの樹種を中心に森作りを進めています。今日まで9年間の努力は、砂漠のようになっていたり、不毛の地となっていた地域に、森ができ、多くの動植物が戻ってきました。地球環境を考えますとき、これからはますます、植林に力を入れなければなりません。

多くの方々の協力によって作り上げてきた森を、これからは発展させていくため、皆様のご協力をお願いいたします。パンタナールに、自分の森を作りましょう。

一口(一本)3,000円の支援で、現地のインドイオの人に仕事をしてもらい、将来の森づくりに協力してもらいます。

NPO地球の緑を守る会

武蔵野市境南町2-1-22和田ビル2階B

電話0422-39-3324

ファックス0422-39-3344